ペパボ通信

2022年12月期 報告書
（2022.1.1～2022.12.31）

GMOペパボ

証券コード：3633

渋谷の社窓から

2022年は、リオープニングによる消費動向の変化を大きく受けフロー型サービスの流通額が想定を下回り、期初に公表した通期連結業績予想を下方修正せざるを得ないという残念な結果となりました。

2023年については売上高110億円、営業利益8.5億円の達成に向け、引き続き伸張すると見込んでいるEC分野において、デジタルコンテンツ販売や越境ECにも新たに取り組んでまいります。

2023年1月、GMOペパボは創業20周年を迎えました。20年の大きな節目を迎えられましたのは、ひとえに皆様の力強いご支援とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

ポストコロナや円安、原価高騰といった様々な要因により、ポジティブ・ネガティブの両局面において環境がめまぐるしく変化する中で、社業をさらに発展させるためには我々自らの成長と覚悟こそが肝要であると考えています。

そこで創業20周年を成長に向けた変革の良い機会と捉え、『人類のアウトプットを増やす』を新たなミッションとして策定しました。

2003年の創業当時、SNSもなくレンタルサーバー利用料はまだ高価だったため、インターネットで情報を発信する人たちはごく限られた人だけで、インターネット上で絵や写真を公開することが仕事につながったり、遠方にあるお店の商品を簡単に注文できたり、そんなことが可能になる未来がくるとはまだ考えられていませんでした。しかしたった20年で、インターネットインフラやプラットフォームが急速に整備され、それらは今や当たり前の日常になりました。

これからは規模に関わらず、大企業や地元の商店、個人といった世界中の人たちの、ありとあらゆるアウトプットこそが様々な進化や新たな価値を生み出し、未来を創造していくのだと確信しています。

我々GMOペパボもまた、人類のアウトプットを促すプロダクトを生み出し続け、ユーザーの皆様と共に進化し拡大していく、という強い決意をミッションに込めています。次の20年、さらにその先に向けての足掛かりとなる1年にすべく、覚悟をもって邁進してまいります。

GMOペパボ株式会社　代表取締役社長

佐藤　健太郎

TOPICS　ネットショップ作成サービス「カラーミーショップ byGMOペパボ」が、新たに『プレミアムプラン』の提供を開始しました!

カラーミーショップは、より大規模なネットショップ運営を支援するため、新たに『プレミアムプラン』の提供を開始しました。『プレミアムプラン』は、主に月商200万円以上のネットショップを対象としており、あらゆる業態に対応したカスタマイズ性に加え、売上成長、運営の効率化を「ECアドバイザー」がサポートするなど、カラーミーショップ史上最高の支援を提供します。

『プレミアムプラン』3つの特長

01 「ECアドバイザー」によるサポートでショップの課題を抽出

「ECアドバイザー」が事業者と定期的なミーティングを行い、ショップ運営の課題解決に向けたご提案を行います。また、ショップ全体のアクセス分析といったデータに基づいたレポートを定期的にご提出します。

02 「プレミアムプラン」ならではの高度な機能で売上を最大化

「会員ランク」機能：
顧客の会員ランクを設定できる機能

「予約販売」機能：
商品の仕入れ予測ができる機能

「タグ管理 for GTM」：
Googleタグマネージャーと連携し任意のページに計測タグを設置することができる機能

03 業界最安水準（※1）の手数料

決済手数料は業界最安水準の3.14%～(※2)と従来のプランよりも月々のコストを抑えて運営することができます。

（※1）「業界最安水準」とは、主要ネットショップ作成サービスの決済手数料について最安値から安価な順に5社を比較し、最安の決済手数料との差が10%未満であることをいう。2022年10月26日現在。当社調べ
（※2）決済代行会社GMOイプシロンと契約した場合

株主の皆様へ

当社は2022年12月期第1四半期の期首より、「収益認識に関する会計基準」（以下、新基準）を適用しております。新基準適用により、特に売上高が大きく影響を受けるため、以下の文章・グラフでは2021年12月期の業績を2022年12月期と同じ新基準に遡及修正したうえで前期比較を行っています。

2022年12月期の業績について

当社は、表現活動を支援するための様々なウェブサービス及びスマートフォンアプリを提供しています。

当連結会計年度は、リオープニングに伴うオフライン消費の回復など消費動向の変化による影響を受け、フロー型ビジネスである「SUZURI」や「minne」の流通額が前年を下回りました。一方、ストック型ビジネスの「ロリポップ!」の価格改定が奏功したことが、過去最高の売上高につながりました。金融支援事業では、「FREENANCE」の請求書買取額が大幅に増加しました。利益面では、「SUZURI」におけるテレビCMの実施等、プロモーション費用が増加し減益となりました。

以上の結果、当連結会計年度における業績は、売上高10,531,259千円（前期比6.7%増）、営業利益732,303千円（同16.5%減）、経常利益767,173千円（同19.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益510,092千円（同27.5%減）となりました。

ホスティング事業

ホスティング事業には、個人からビジネスまで幅広い用途にご利用頂けるレンタルサーバーサービス「ロリポップ!」及びドメイン取得代行サービス「ムームードメイン」等が属しており、好調に推移しました。

「ロリポップ!」では、ブログ収益化・副業スタートパックの提供やドメインとの連携強化による上位プランの契約獲得に注力したため、低価格プランからの解約が発生し契約件数は微減となったものの、2021年に実施した価格改定の効果や上位プランの契約比率が高まったため、顧客単価は449円（前期比12.8%増）となりました。

「ムームードメイン」では、ドメイン更新率の向上により顧客単価が上昇したほか、主要ドメインの新規取得割引や各種キャンペーンを実施したことから、登録ドメイン数も増加しました。

この結果、セグメント売上高は5,153,431千円（前期比8.3%増）、セグメント利益は1,729,952千円（同18.5%増）となりました。

EC支援事業

EC支援事業には、月額制ネットショップ作成サービス「カラーミーショップ」及びオリジナルグッズ作成・販売サービス「SUZURI」等が属しています。「カラーミーショップ」の業績は前期並みに推移した一方で、「SUZURI」が想定を下回り、前期比で減収減益となりました。

「カラーミーショップ」では、売上高は前期比で増加したものの、「カラーミーショップ大賞2022」の開催や、インフラを強化したことで費用が増加し、減益となりました。契約件数は、フリープランの利用が増加し50,663件（前期末比9.3%増）となりました。また、2022年4月に実施した価格改定の効果により、月額有料プランの顧客単価は4,146円（前期比18.8%増）となりました。

「SUZURI」では、「ドッグTシャツ」や「アクリルキーホルダー」などの新規アイテムの取扱いを開始し、登録会員数は135万人（前期末比27.5%増）となりました。一方で、消費動向の変化による影響を受け、流通金額は26億円（前期比16.3%減）となりました。また、第2四半期に実施したテレビCM等のプロモーション費用の増加により減益となりました。

この結果、セグメント売上高は3,130,675千円（前期比2.2%減）、セグメント利益は823,597千円（同26.5%減）となりました。

ハンドメイド事業

ハンドメイド事業には、国内最大級のハンドメイドマーケット「minne」が属しています。「アンティーク・ヴィンテージ」アイテムの取扱いを開始したほか、イベントへのブース出展やハンドメイド作品コンテストの共催などリアルイベントへの取り組みを強化しました。販促強化のキャンペーン施策等を実施したものの、消費動向の変化による影響を受け、流通金額は150億円（前期比0.5%減）となりました。費用面では、プロモーション費用のほか、資源・エネルギー価格の高騰によるインフラコストも増加しました。

この結果、セグメント売上高は1,650,561千円（前期比1.2%減）、セグメント利益は82,208千円（同63.5%減）となりました。

金融支援事業

金融支援事業には、連結子会社であるGMOクリエイターズネットワーク株式会社が運営するフリーランス向けファクタリングサービス「FREENANCE」が属しています。運送会社を中心に提携企業数が増加し、3者間取引による利用が拡大したことから、請求書買取額は86億円（前期比207.3%増）と拡大、過去最高を更新しています。それに伴い営業利益も大幅に改善しました。

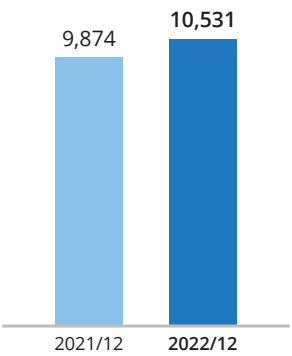
この結果、セグメント売上高は593,839千円（前期比180.6%増）、セグメント損失は26,245千円（前期におけるセグメント損失は139,813千円）となりました。

その他

その他には、習い事やチーム・教室運営における連絡や集金をクラウド上で一元管理できるサービス「GMOレンシュ」が属しており、正式版のサービス提供を開始しました。

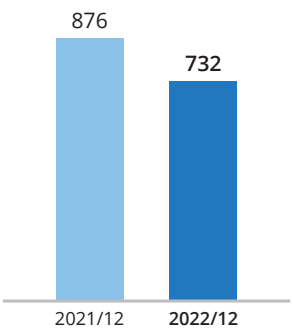
売上高

（単位：百万円　単位未満切捨）



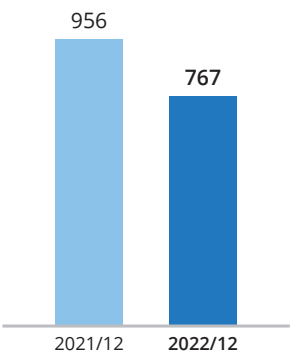
営業利益

（単位：百万円　単位未満切捨）



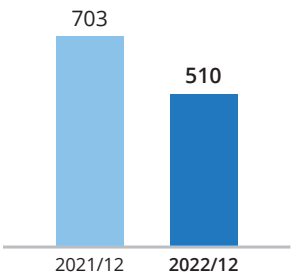
経常利益

（単位：百万円　単位未満切捨）



親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円　単位未満切捨）



※2021年12月期については、収益認識基準を遡って適用した未監査の数値です。

この結果、当連結会計年度におけるセグメント売上高は2,751千円（前期比91.7％減）、セグメント損失は42,592千円（前期におけるセグメント損失は12,717千円）となりました。

2023年12月期の業績見通しと中長期の成長戦略について

2023年12月期の連結業績は、売上高11,064百万円、営業利益857百万円、経常利益830百万円、親会社株主に帰属する当期純利益573百万円を見込んでおります。

2023年も消費動向の変化や資源・エネルギー価格高騰の影響は続くものと想定されます。そのため、ホスティング事業ではコスト増に対応するため価格改定を発表しました。

また、「SUZURI」「minne」では、デジタルコンテンツ等の非物販ECの取扱いを開始するほか、金融支援事業では、API連携する業種を増やすことで、請求書買取額の拡大を目指します。

当社の中長期成長戦略ですが、各サービスをストック型ビジネスとフロー型ビジネスに分類し、それぞれの領域で事業成長を目指すことで、2026年12月期に営業利益15.7億円を掲げています（下図参照）。

ストック型ビジネスにおいて、「ロリポップ!」「ムームードメイン」では、法人向けをはじめ、より高い要望や需要に応える質の高いサービスを提供することで、新規顧客の獲得を図ります。

「カラーミーショップ」では、物販EC市場全体が伸び悩む中で、複数店舗をもつような上位層ユーザーへの成長支援を推進します。既存店舗の規模拡大に合わせたプランを選べるよう、2023年1月には『プレミアムプラン』の提供を開始しました。さらなる機能の拡充、ECアドバイザーによるサポートにより、規模の大きい店舗の成長を支援します。

フロー型ビジネスにおいて、「SUZURI」「minne」では、物販EC以外の新たな領域へのチャレンジを継続し、より大きな流通を生み出すクリエイターの獲得を目指します。

「FREENANCE」では、現在好調に推移する請求書買取額の成長をさらに推し進めるため、業種拡大やリピーター獲得のための利便性強化に取り組むほか、月額プランの展開をはじめとした新たな成長の柱を作ってまいります。

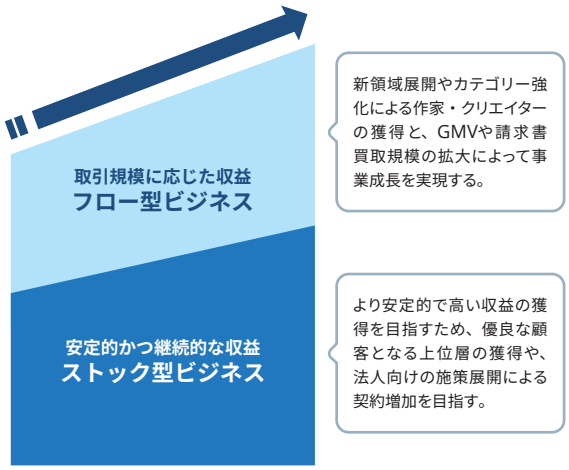
最後に

当社では、株主への適正な利益還元のため、事業成長に基づく中長期的な株式価値の向上とともに、業績に連動した配当（配当性向50%）を継続的に実施できる収益力の安定に努めております。

上記の方針に基づき、2022年12月期の配当は、年間1株当たり50.00円（配当性向51.9%）とさせていただきました。2023年12月期の配当金につきましては、年間1株当たり55.00円を予定しております。

株主の皆様には今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど、なにとぞよろしくお願いいたします。

主要ビジネス	サービス名	セグメント
フロー型ビジネス	minne	ハンドメイド事業
	FREENANCE	金融支援事業
	SUZURI	EC支援事業
ストック型ビジネス	カラーミーショップ	
	ロリポップ！	ホスティング事業
	ムームードメイン	

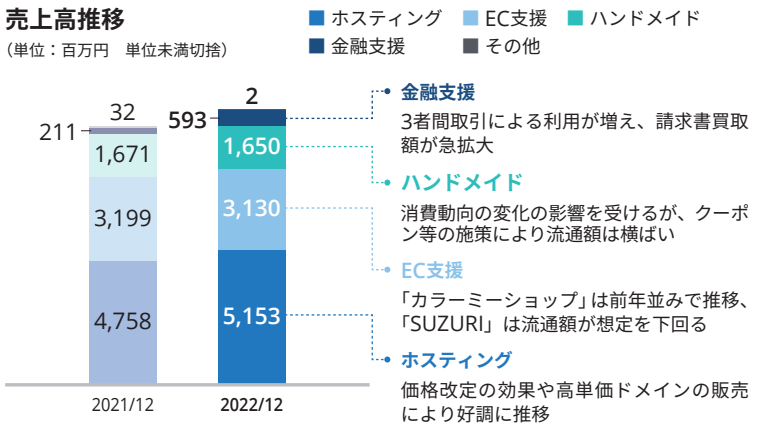


セグメントの概況

ストック型ビジネスのホスティング事業が堅調に推移した一方、リオープニングに伴う消費動向の変化を受けた「SUZURI」や「minne」が伸び悩みました。金融支援事業は大幅な増収により、利益面も大きく改善しました。
その他の事業では、「GMOレンシュ」正式版のサービス提供が開始されました。

※2021年12月期については、収益認識基準を遡って適用した未監査の数値です。

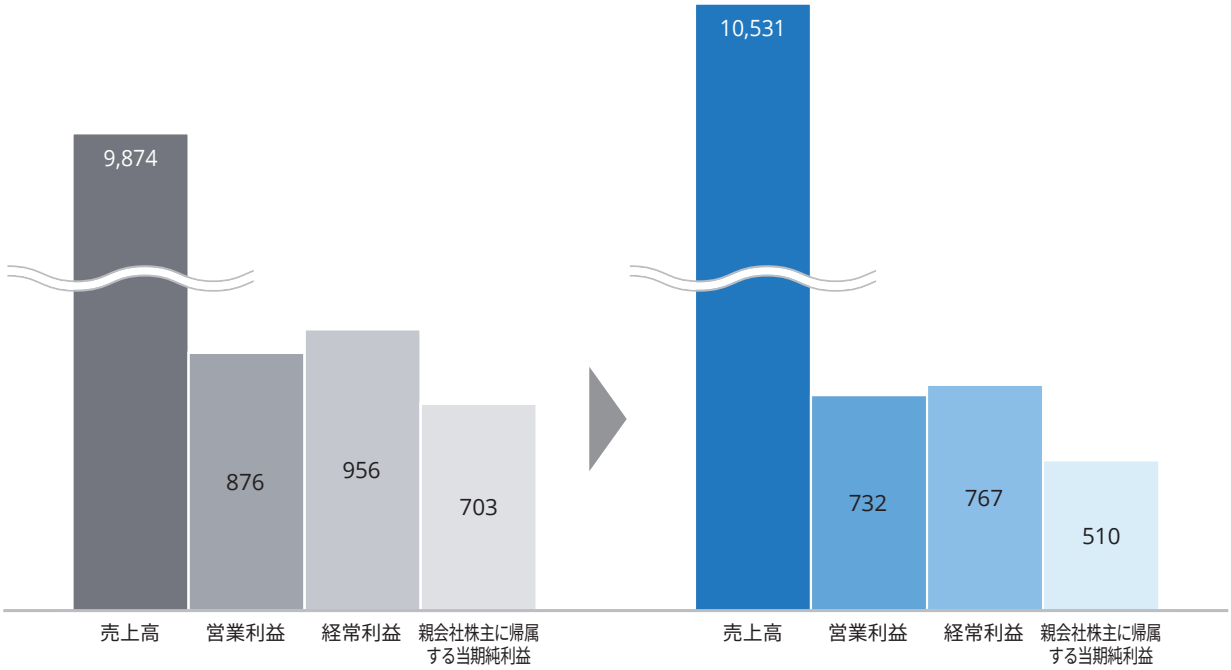
売上高推移
（単位：百万円　単位未満切捨）



連結財務諸表（要約）

連結損益計算書

（単位：百万円）



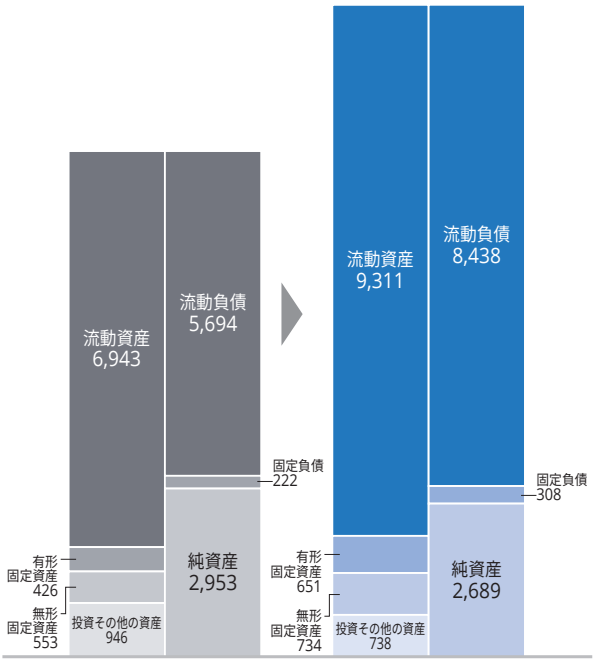
前期
2021年1月1日～ 2021年12月31日

当期
2022年1月1日～ 2022年12月31日

※2021年12月期及び2022年12月期ともに「収益認識に関する会計基準」を適用後の数値となります。

連結貸借対照表

（単位：百万円）

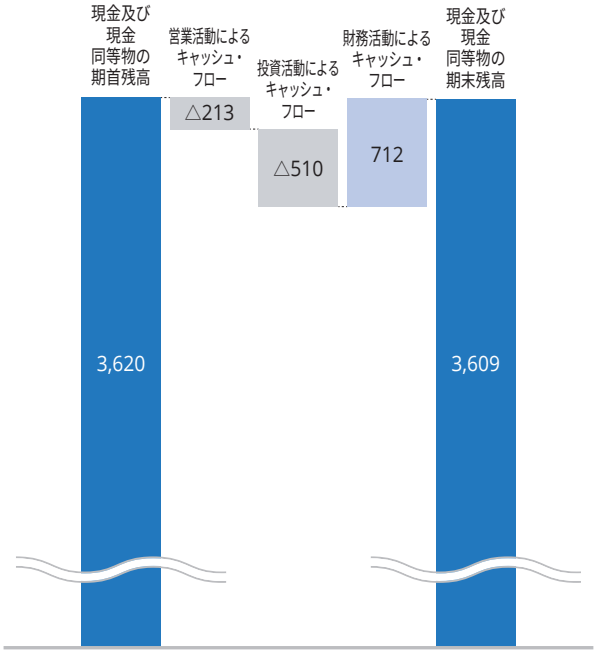


前期末
2021年12月31日

当期末
2022年12月31日

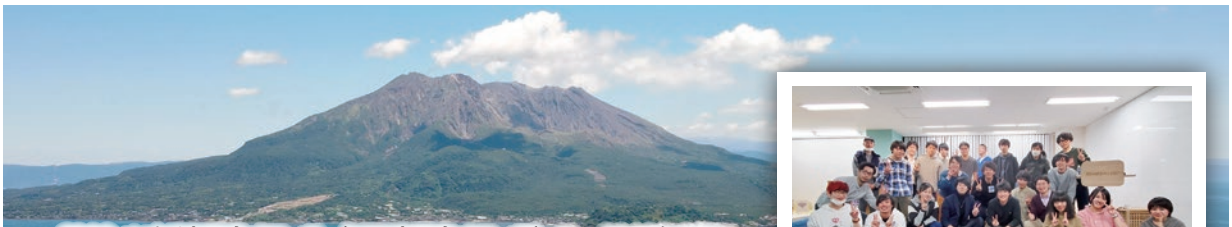
連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）



当期
2022年1月1日～ 2022年12月31日

特集　担当者の声　－鹿児島No.1企業を目指して－



GMOペパボ鹿児島オフィス（以下鹿児島オフィス）は、2019年2月にエンジニアの新拠点として鹿児島市に開設されました。開発力、給与など様々な面で鹿児島No.1企業を目指すとともに、同地域におけるIT人材育成や地域活性化に取り組んでいます。

イベント時の鹿児島オフィスのパートナーと参加者

地域DX支援

写真左：GMOペパボ　代表取締役社長　佐藤　健太郎
写真右：奄美市長　安田　壮平氏

鹿児島県奄美市と、2022年4月22日（金）に地域のDX推進に関する連携協定を締結いたしました。
今後、両社の連携をより強化し、市内の企業や個人事業主、フリーランス、市民におけるDXを積極的に推進してまいります。

また、鹿児島市や全国商工会連合とも連携し、テクノロジーによる地域の活性化や中小企業・小規模事業者のEC化支援にも貢献しております。

取り組み実績例

- 「minne」：第7回「あまみハンドメイド大賞」、「あまみハンドメイドマーケット」イベント協力と特別審査員として参加
- 「カラーミーショップ」：鹿児島銀行とのセミナー開催（21年：10回、申込者数394名、22年：5回、申込者数157名）
- 「グーペ」：鹿児島県商工会連合会主催「グーペホームページ作成コンテスト」開催（21年：27市町村参加、22年：22市町村参加）

地域スポーツ支援

サッカーＪリーグ
鹿児島ユナイテッドFC
オフィシャルトップパートナー契約

写真左：鹿児島ユナイテッドFC　広瀬　健太氏
写真右：GMOペパボ　代表取締役社長　佐藤　健太郎

支援内容例

- スペシャルマッチ開催
- 陣中お見舞いにスポーツドリンク1,000Lを差入れ
- サポーター様にもペパボサービスを一部優待価格でご提供

バスケットボール「B.LEAGUE B3」
鹿児島レブナイズ
2022-23シーズン プラチナパートナー

支援内容例

- チーム・教室のための連絡集金サービス「GMOレンシュ」をユースチーム運営や子供向けスクール事業に提供

SUZURIで オフィシャルショップも 開設中！

鹿児島ユナイテッドFC 公式SUZURIショップ
https://suzuri.jp/kufc

鹿児島レブナイズ 公式SUZURIショップ
https://suzuri.jp/KAGOSHIMA_REBNISE_OFFICIAL

担当者の声

鹿児島オフィス
エンジニア サブマネージャー
早崎 俊輔

4年前に2名からスタートした鹿児島オフィスですが、現在の所属人数は15名となりました。鹿児島オフィスではペパボの様々な事業部の開発を行っており、ホスティング事業部・EC事業部のほか、新規サービス「GMOレンシュ」の開発からリリースまで行うなど、事業部を横断的にサポートしています。

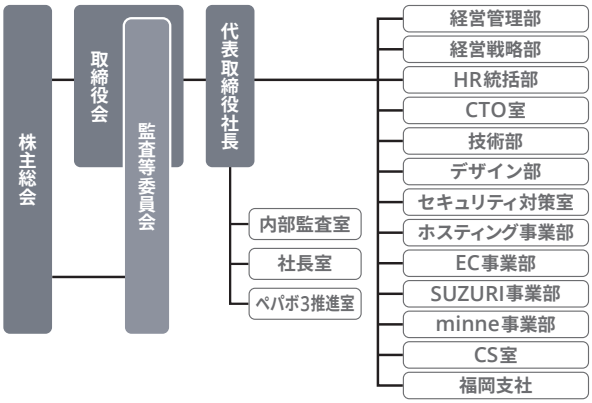
開発運用のほかに、様々な面から鹿児島を盛り上げることも鹿児島オフィスのミッションです。エンジニアを目指している方に向けた勉強会をオフィスのイベントスペースで開催したり、「さくらじまハウス」などのエンジニアイベントの運営に参画したりしています。そのほか、自治体と提携したDX支援、地元スポーツチーム支援などの取り組みも進めています。

今後もエンジニアだけでなく他職種も含めてメンバーの増員を予定しています。現在、鹿児島オフィスとして初めて新卒採用を行っており、鹿児島の企業の中で新卒の給与としては最高水準の金額を設定しています。鹿児島オフィスの設立理由のひとつに、IT人材を増やし賃金の地域格差の解消に取り組みたいという目的もあるためです。中途採用やU・Iターンも同様に、都心部と変わらない仕事を提供できる環境をつくりあげて、ペパボが地域創生のモデルとなれれば嬉しいです。

会社概要（2022年12月末現在）

社　　名	GMOペパボ株式会社
本　　社	〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町26番1号セルリアンタワー
設 立 日	2003年1月10日
資 本 金	2億6,222万円
従業員数	475名（連結）
事業内容	ホスティング事業 EC支援事業 ハンドメイド事業 金融支援事業 その他

組 織 図



役　　員

代表取締役社長	佐　藤　健太郎
取締役会長	熊　谷　正　寿
取締役副社長	星　　隼　人
常務取締役 CFO	五十島　啓　人
取締役 CTO	栗　林　健太郎
取締役 CIO	野　上　真　穂
取締役（社外・独立役員）	乗　口　雅　充
監査等委員である取締役	藁　科　明日香
監査等委員である取締役（社外・独立役員）	宍　戸　一　樹
監査等委員である取締役（社外・独立役員）	雨　宮　雄　一

IRメールマガジンに
ご登録ください

決算情報など最新情報をお届けします ▶

株式の状況（2022年12月末現在）

発行可能株式総数	6,000,000株
発行済株式総数	5,468,700株
株主数	4,258名

大株主	持 株 数	持株比率
GMOインターネットグループ株式会社	3,031,400株	57.44%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	227,900株	4.31%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	133,500株	2.52%
GMOアドパートナーズ株式会社	108,000株	2.04%
野村證券株式会社	51,100株	0.96%
佐藤　健太郎	47,800株	0.90%
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	46,600株	0.88%
PERSHING-DIV. OF DLJ SECS. CORP.	37,600株	0.71%
CREDIT SUISSE AG HONG KONG TRUST A/C CLIENT	28,000株	0.53%
谷口　悌一	27,500株	0.52%

（注）1. 当社は、自己株式191,657株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株式についてのご案内（株主メモ）

事　業　年　度	1月1日から12月31日まで
剰余金配当の基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同　連　絡　先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 受付時間 9:00～17:00（土日休日を除く） 郵便送付先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL https://pepabo.com/ir/ （ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします）

（ご注意）
1．株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三井住友信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2．未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。（コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く）

株主優待制度のご案内

有効期間 2023年4月1日(土)～2023年9月30日(土)

当社では、2022年12月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式を1単元（100株）以上保有している株主様を対象に、株主優待を実施しております。なお、本優待の換金、第三者への譲渡はできません。

優待1 ポイント／クーポン プレゼント

対象となる株主様1名につき、以下に記載した優待品Aから Cのいずれかをお選びいただくことができます。

1単元保有の株主様	1,500 ポイント／クーポン（1,500円相当）	2単元以上保有の株主様	3,000 ポイント／クーポン（3,000円相当）

当社のサービスをご利用されたい方

A 「おさいぽ！ポイント」

サービス利用料のお支払いの際に、1ポイント1円として代金に充当できるポイントです。
当社のサービスをご利用されたい方は、こちらのポイントがおすすめです。

「おさいぽ！ポイント」をご利用いただけるサービス

LOLIPOP! / COLOR ME / hetemil / MuuMuu Domain / 30 days Album / Rookie

ネットショッピング等を楽しみたい方

B 「GMOポイント」

ショッピングモールサイト「GMOポイントモール」等、GMOインターネットグループが運営するGMOポイント導入サービスにてご利用いただけます。
ネットショッピング等のお支払いに充当いただけますので、是非ご活用ください。

「GMOポイント」をご利用いただけるサービス

GMOポイントモール / くまポン

こだわりの一品をお探しの方

C 「minneクーポン」

ハンドメイドマーケット「minne（ミンネ）」での作品購入の際、代金に充当できるクーポンです。「minne」は、アクセサリーやステーショナリー、生活雑貨、食品など様々なジャンルのハンドメイド作品を手軽に販売・購入できる国内最大のハンドメイドマーケットです。

ハンドメイドマーケット「minne」

優待2 GMOクリック証券手数料キャッシュバック

対象となる株主様が、GMOクリック証券で対象のお取引を行った場合の手数料相当額をキャッシュバックいたします。

1 買付手数料キャッシュバック

GMOクリック証券で対象期間中に生じたGMOペパボの株式の買付手数料をキャッシュバックいたします。

対象取引：現物買付取引、信用新規買取引、信用返済買取引
対象期間：2023年4月1日(土)～2023年9月30日(土)

2 売買手数料キャッシュバック

GMOクリック証券における対象取引の売買手数料について、対象期間中に生じた手数料相当額をキャッシュバックいたします。

対象取引：現物取引、信用取引、先物・オプション取引、投資信託（購入時の手数料のみ）、FXネオ取引、くりっく365取引
対象期間：2023年4月1日(土)～2023年9月30日(土)

1単元保有の株主様 上限1,500円　2単元以上保有の株主様 上限3,000円

詳しくはWebページをご覧ください。 ペパボ優待 検索 https://pepabo.com/ir/benefit/

2023年4月1日(土)0時から株主優待発行ページのシステムメンテナンスを予定しております。詳しくは、株主優待発行ページをご確認ください。

【お問い合わせ先】 GMOペパボ株式会社 株主優待事務局　MAIL ir@pepabo.com　WEB https://pepabo.com

株主の皆様へ お知らせ

現在、GMOペパボでは個人投資家の皆様に向けた情報発信を強化しています。
ぜひご覧くださいませ。

■「個人投資家のみなさまへ」「中長期目標・成長戦略」を更新しました

「株主・投資家情報」ページ上部のリンクボタンをクリックしてください。

【GMOペパボ「株主・投資家情報」ページ】
https://pepabo.com/ir/

■IR担当者がブログを開始しました

「ペパボHRブログ」にて、決算レビューや投資家の皆様へ向けた発信を定期的に行っています。

【ペパボHRブログ IR・投資家情報】
https://hr.pepabo.com/tag/ir・投資家情報